事務事業⊐ート 019800 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 若者による地方創生政策推進事業 所属名 企画推進部 政策企画課

1	其本	害報

位総	体系区分	П -		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、		
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山凹寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	その他
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
0)	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名【若者による地方創生政策推進事業費					予算事業コード	01-02-01-07-01-47

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の地方創生の取組
意図 (どのような状態 にするために)	若者・女性の視点・意見を反映
手段 (どうするのか)	「とっとり若者地方創生会議」において、地方創生の中心課題である若者の移住・定住やまちのにぎわいづくり に必要となる施策について、調査研究し、会議の活動を展開する。

※年度別(か取り組み	なを簡潔	ᇈᇎᇫ

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 3		とっとり若者地方創 生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創 生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創 生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創 生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創 生会議開催 成果発表会
谷		E別実 績	成果発表会(市政提 言、次年度取組の提案)	とっとり若者地方創 生会議(22回) 成果発表会(市政提 言、次年度取組の提案)	とっとり若者地方創 生会議(26回) 成果発表会(市政提 言、次年度取組の提案)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	2,432	2,681	2,689	0	0
事	直接	経費 A	266	485	516	0	0
業	古拉奴	国・県	75	164	171	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	191	321	345	0	0
	人作	牛費 B	2,166	2,196	2,173	0	0
賠	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1 '	311/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u> ' ' '</u>	<u> 天 ///.</u>	ではスペッのことで大心した石刻の人と	. C : 3X	7 10 175	I D III DO				
		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		とっとり若者地方創生会議の開催		目標	12	12	12	12	12
	1		回	実績	18	22	26	0	0
_		(指標の説明)							
活動	2	企画イベントの開催		目標	1	1	1	1	1
動 指			凹	実績	1	3	3	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•						
		<u> </u>					•	•	·

=	立は20年度の3	事務事業実施概要	IDO
Э.	平成30年段の書	11 穷事来夫他做安	IDO

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012

【10次総の施策体系】3101

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次:当初予算・P31 (企005)

本市の地方創生の中心課題である「若者の移住・定住の促進」を基本テーマとし、会議 での調査研究やイベントの実施などの活動を展開する。活動を通じて得た内容を、次年度 の活動方針・市への提言として、成果発表会で提案・提言する。

【事業の成果】

○平成29年度

- ・とっとり若者地方創生会議 22回開催
- ・学生を対象とした鳥取の魅力を発見するバスツアーの実施
- ・大学生と社会人との交流イベント開催
- ・中心市街地を市内の大学等の新入生に紹介するマップの作成・配布

○平成30年度

- ・とっとり若者地方創生会議 26回開催
- ・鳥取大学・公立鳥取環境大学 学生へのアンケート実施 ・地元企業見学会 (イベント) 「企業まる見え!見学隊」の開催 (2回)
- ・地域と大学生をつなぐハンドブックの作成

【今後の課題・方向性】

前年度の活動の成果や課題を踏まえ、庁内各課・関係団体と協力した取組みを進める。 会議での取組みを継承していくために、継続・新規メンバーのバランスのとれた会議の 構成が求められる。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

事務事業の実施概要

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	とっとり若者地方創生会議の開催	150%	183%	217%		
標達成	2	企画イベントの開催	100%	300%	300%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	会議、企画イベントの開催ともに計画を上回った。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 滴: 上回る」、「80%~100%以下: 目標とおり」、 「50%~80%未満: 大幅に 下回る」、「80%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価		企画イベントの実施以外にも、岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察を行うなど積極的な活動を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
				会議の構成がす	められる。

事務事業評価シート 事務事業コード 019900 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 市民生活部 協働推進課 事務事業名 コミュニティ支援事業

1	其	木	恄	報

	L. ILI IN						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置音	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成20年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、	鳥取市自治基本条例、鳥取市	
けめ	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹		地域コミュニティ育成支援事業 交付金交付要綱	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付
•	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 コミ	爰事業費			予算事業コード	01-02-01-11-06-10	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	まちづくり協議会
対象 (何を、誰を)	
(मटिर्सट)	
÷	まちづくり協議会の運営、活動等を支援するため
意図 (どのような状態	
にするために)	
	各補助金の交付などする
手段	
(どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別(か取り組み	なを簡潔	ᇈᇎᇫ

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 3 5 4 年度別実績		まちづくり協議会の 運営支援 達ち支援 まちづくり協議会へ の地域コミュニティ計 画に基づく事業の実施 支援	まちづくり協議会へ の地域コミュニティ計 画に基づく事業の実施		まちづくり協議会の 運営支援 まちづくり協議会へ の地域コミュニティ計 画に基づく事業の実施 支援	まちづくり協議会の 運営支援 まちづくり協議会へ の地域コミュニティ計 画に基づく事業の実施 支援
谷			運営助成 60件 事業支援 58件	運営助成 61件 事業支援 60件	運営助成 61件 事業支援 61件		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	31,762		32,367	0	0
事	直接	経費 A	26,709	-	27,297	0	0
業	直接経	国・県	6,648	8,007	7,961	0	0
費	豊佞社費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	20,061	18,883	19,336		0
	人作	牛費 B	5,053		5,070	0	0
膱	員数の	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【				[PLAN·DO]						
		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		[KPI]協働事業件数	件	目標	151	159	167	175	175		
	1		H	実績	141	143	145	0	0		
\ ₋ -		(指標の説明)基準値は平成25年度実績。									
活動		[KPI]まちづくり協議会事業推進に係る研修参加者	ı	目標	113	125	138	150	150		
動 指	2		^	実績	119	144	158	0	0		
標		(指標の説明)基準値は平成27年度実績									
IN		協働のまちづくり支援事業及び協働のまちづくり特別 支援事業の申請数	地区	目標	61	61	61	61	61		
	3	文抜争未の中胡奴	받스	実績	58	60	61	0	0		
		(指標の説明)基準値は平成27年度実績									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

Ť	,,,,	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指揮	1	[KPI]協働事業件数	93%	90%	87%		
標達成	2	[KPI]まちづくり協議会事業推進に係る研修参加者	105%	115%	114%		
率	3	協働のまちづくり支援事業及び協働のまちづくり特別支援事業の申請数	95%	98%	100%		

画に基づく地域の課題解決に向けた取り組みが進められている。

働のまちづくりが前進するよう、今後も継続して取り組む。

本市の制度や支援のあり方が、より地域の実情に即したものとなり、市民と行政との協

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

【今後の課題・方向性】

7 評価【CHECK】

/. 計価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 1.目標を大幅に上回る □ 2.目標を上回る ■ 3.概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	地域とともに、地域の事情や特性も継続して取り組む。	に合わせた制度や支援のあり方を模索している	き、市民と行政との協働のまちづくりが前進するよう、今後
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 020000
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 鳥取市自治連合会補助事業
 所属名
 市民生活部 協働推進課

1. 基本情報

	EYTYIRTK							
☆ 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分		
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成13年度 ~ 全期		
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、	公益活動団体補助金交付要綱		
17 D						根拠法市、根拠計画等		
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	似灰山画寺		
目施	市民活動に参加したこ	とがある市民	の割合(H26年度:70.7%)	0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付	
	地区公民館の耐震	化率		85%	100%	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 鳥耳	双市自治連	合会補助金			予算事業コード	01-02-01-11-06-03	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	鳥取市自治連合会
意図 (どのような状態 にするために)	住民自治の基本である自治会(町内会)の強化・育成
手段 (どうするのか)	鳥取市自治連合会の活動を支援するとともに、単位自治会に活動助成を行う。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
	1. 2/0.0	1 2 2 2 2 2	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内	年度	E別計画	鳥取市自治連合会の	鳥取市自治連合会の活動支援	鳥取市自治連合会の 活動支援	鳥取市自治連合会の活動支援	鳥取市自治連合会の 活動支援
容	年度別実績		鳥取市自治連合会の 活動支援	鳥取市自治連合会の 活動支援	鳥取市自治連合会の 活動支援		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	72,346	73,083	73,087	0	0
事	直接	経費 A	70,180	70,887	70,914	0	0
学業	直接経	国・県	2,128	2,080	1,987	0	0
業費	世夜性費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	1,802	1,729	428	0	0
		一般財源	66,250	67,078	68,499	0	0
	人作	牛費 B	2,166	2,196	2,173	0	0
贈	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	- Hr 1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
		加入世帯数	件	目標	53100	53100	53100	53100	53100			
	1		I T	実績	52745	52460	52516	0	0			
э т.		(指標の説明)基準値は平成27年度	指標の説明) 基準値は平成27年度実績									
活動	2			目標	0	0	0	0	0			
指				実績	0	0	0	0	0			
標		(指標の説明)										
IV.				目標	0	0	0	0	0			
	3			実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)			·							

5.	平成30年度の事務事業実施概要	
		【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177
		【10次総の施策体系】3101
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P44(地011)
		【事業の概要】 補助金名:鳥取市自治連合会交付金 目 的:住民自治の基本である自治会(町内会)の活動を財政的に支援し自治組織の 強化・育成を図る。 内 容:補助金による鳥取市自治連合会及び単位自治会の活動助成 補助対象者:鳥取市自治連合会
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進める。単位自治会の活動助成については、平成22年度から、均等割35,000円、世帯割700円の統一制度としている。 平成30年9月に、市自治連合会、公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会、本市の3者が自治会への加入促進に関する協定を締結した。 平成28年度 活動助成金66,006千円(833町内会、52,745世帯) 運営助成金4,174千円(全自連仙台大会等参加、及び事務局運営費) 平成29年度 活動助成金65,960千円(833町内会、52,460世帯) 運営助成金4,030千円(全自連東大阪大会等参加、及び事務局運営費) 加入促進対策助成金897千円(推進員2名、チラシ等事務費) 平成30年度 活動助成金65,917千円(833町内会、52,516世帯) 運営助成金4,100千円(全自連東京大会等参加、及び事務局運営費) 加入促進対策助成金897千円(推進員2名、チラシ等事務費) 【今後の課題・方向性】 未加入者への加入促進及び自治組織がない地域への町内会等設立促進をより一層図る。
6.	活動指標の達成率【CHECK】	
	指標名	平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 令和2年度

指標達成率 3

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

加入世帯数

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり	
「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る	

99%

99%

99%

8	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツル木と叫みんにつ ダツカ門 14	LACITON

し、 子木の水木と町のたた / !	X + 7 7 3 1 3 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)				、地域コミュニ	-ティの重要性はますます増加している。鳥取

事務事業⊐ート 020100 重点施策 まちづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 自治会活動活性化支援事業 所属名 市民生活部 協働推進課

1	其	木	恄	報

	1 . 11.3 1.W						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成17年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、	鳥取市補助金等交付規則、鳥	
けめ	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹		取市地域コミュニティ育成支援 事業交付金交付要綱	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山画寺	予未入门业入门 及府
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 自治	台会活動活	性化支援事業費	予算事業コード	01-02-01-11-06-08		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	町内会
意図 (どのような状態 にするために)	地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現を目指す。
手段 (どうするのか)	住民の自主性及び主体性に基づいた、町内会等による地域活動(運動会等のスポーツ活動、伝統行事等の文化活動、町内案内板等の町内会が所有・管理する設備の整備など)を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年[年別の	田口し	組み	を簡潔	ᇆᇎᆺ

-	T-74-7		· 天根 【FLAN·DO】				以り他のでで、同/系に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内	各自治会のコミュニ ディ活動への助成 年度別計画		各自治会のコミュニ ティ活動への助成	各自治会のコミュニ ティ活動への助成	各自治会のコミュニ ティ活動への助成	各自治会のコミュニ ティ活動への助成	
容			506町内会	504町内会	504町内会		
		 野実績					
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業引	貴(A+B)	16,975	16,834	16,883	0	0
事	直接	経費 A	14,809	14,638	14,710	0	0
争業	±+÷ 4⊽	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
_	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,809	14,638	14,710	0	0
	人	牛費 B	2,166	2,196	2,173	0	0
쁨	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 14/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
		[KPI]支援事業数	件	目標	487	498	509	520	0			
	1		IT	実績	506	504	504	0	0			
,_		指標の説明) 町内会等による地域活動を支援(補助金交付)した件数。基準値は平成26年度実績。										
活動				目標	0	0	0	0	0			
指	2			実績	0	0	0	0	0			
標		(指標の説明)										
17A				目標	0	0	0	0	0			
	3			実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)										

5.	平原	は30年度の事務事業実施	西概要【DO】	※前年度の	取り組みを具体に	的に記入(予算	事務事業の事	(う ら) 業概要と連動)
			【問合せ先】コミュ 【10次総の施策体		0857-30-8176			
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P44 (地0	12)		
	事務事業の実施概要		により づくり 内 容:①単位 ②単位 ・運 ・地	自主性及び主体 、地域コミュニの実現に第一 の実現にいる 町内会等が実が 動会等のスポー 域内のが所有、管 の会が所有、管 るがの会がの名。	性に基づいた ティの実・ う。 すするは民の多 一ツ活動 は活動等 で理する設備の 度額3万円	町内会等による 強化を図り、信 軽微な修繕等 数が参加する 整備	る地域活動を支	
			【事業の成果】 平成28年度事業 平成29年度事業 平成30年度事業 「一年度事業 「一年度の課題・全のはの ではいい。 ではい。 では	実施数 506 実施数 504 実施数 504 性】 心して暮らせる いものである。	が が が が が が が が が が が が が が	4,809千F 4,638千F 4,710千F とって、町内会 ミュニティの科	円 円 会組織の結束力 舌性化を図り、	
6.	活重	加指標の達成率 【CHE						
-	1	打 [KPI] 支援事業数	旨標名	平成28年度		平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標	1			104%	101%	99%		
逹	2							
成 率								
×	達瓦	、 な率は指標の目標値と	実績値により算出します。	_ 。目標値がO <i>の</i>	年度は表示さ	れません。		
7	証備	[CHECK]						
É		項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	価の視点を踏	まえて記入)	
3.	事業の名	·及計画の進捗及 E度別計画・実績【PLAN・DO】より	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了					
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。								

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

事業の成果

6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価

□ 1. 目標を大幅に上回る

□ 2. 目標を上回る

■ 3. 概ね目標どおり
□ 4. 目標を下回る
□ 5. 目標を大幅に下回る

し、 子木の水木と町のたた / !	X ** / 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	■ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)	を実施する。	中、地域コミ:	ュニティの活性化を図り、住民	と行政との恊働	のまちづくりが発展するよう、継続して事業

 事務事業コード
 020200
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 市民活動推進事業
 所属名
 市民生活部 協働推進課

1. 基本情報

	L. ILI IN						
☆ 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	☆ まちづくりの目標 30 地域に活気があるまち						平成30年度 ~ 平成30年度
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、	鳥取市市民活動の推進に関す	
けめ	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹	根拠法市、根拠計画等	る条例	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付
0,	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 市民	民活動推進	事業費	予算事業コード	01-02-01-01-12-01		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象(何を、誰を)	市民、市民活動団体等
意図 (どのような状態 にするために)	市民活動の社会的意義や重要性の認識を高め、市民活動をより一層推進する
手段 (どうするのか)	市民活動の推進に顕著な功績のあった者を表彰し、広く市民に顕彰する

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内穴	年度	E別計画	市民活動の表彰	市民活動の表彰	市民活動の表彰	市民活動の表彰	市民活動の表彰
容	年度	 医別実績	市民活動の表彰 個人2人 団体3団体	市民活動の表彰 団体6団体	市民活動の表彰 団体2団体		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	756	763	736	0	0
由	直接	経費 A	34	31	12	0	0
事業	±+÷ 47	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
<u> </u>	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	34	31	12	0	0
	人作	牛費 B	722	732	724	0	0
쁨	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	F 3 L/C	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		表彰する件数	件	目標	10	10	10	10	10
	1			実績	5	6	2	0	0
,-		(指標の説明) 評価すべき活動として	表彰した						
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,224				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
	【問合せ先】市民活	動係 0857-30-	8177			
	【10次総の施策体	系】3101				
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算·	P43 (地0	10)		
	【事業の概要】 市民や市民活動団 進することを目的と 活動団体等のモチベ 民活動の活性化を促	する。その手段 ーション向上と	とのひとつとし	て、市民活動は	こ対する表彰を	を行い、市民
事務事業の実施概要	【事業の成果】 市民活動表彰:市 平成28年度 5 平成29年度 6 平成30年度 2	団体 (人) 団体 (人)	- 顕著な功績が	あった市民、i	市民活動団体を	≥表彰する。
	【今後の課題・方向 幅広い分野の活動		で市民活動の	さらなる促進し	こつなげていく	>
6. 活動指標の達成率【CHECK】	,					
指標名	<u> </u>	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

指標達成率 3

2

3

表彰する件数

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「500余巻、150%未満、大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る ■ 5. 目標を大幅に下回る	被表彰者が目標値を下回っている状態であり、制度周知などを図っていく 必要がある。

50%

60%

20%

8	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫るたに / 区ツカロコ	LACITOIN,

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	幅広い分野の活動を表彰すること	で市民活動のさらなる促進につなげていく。		
(「今後の方向性」を判断した理由が				
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)				
な以木C、7 後の以普ノフノを記載/				

事務事業コード 020300 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 協働のまちづくりガイドラインの策定事業 所属名 市民生活部 協働推進課

1. 基本情報

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分	
位置が電	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成27年度 ~ 全	期
づ回け	政策	01	協働のまちづくり			根拠法令、		
17 D	施策	3101	協働のまちづくりの推議	隹		根拠法市、根拠計画等		
旃	目標の種別			平成28年度	令和2年度			
目型	市民活動に参加したこ	とがある市民	の割合(H26年度:70.7%)	0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営	
0)		地区公民館の耐震化率			100%	会計区分		
予算	予算事業名		•		·	予算事業コード		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 于木口口	
対象 (何を、誰を)	市民等
意図 (どのような状態 にするために)	協働のまちづくりを推進し、ニーズに則した効果的な行財政運営を行う
手段 (どうするのか)	協働のまちづくりガイドラインを策定し、適切に運用する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	協働のまちづくりガ イドラインの検討	協働のまちづくりガ イドラインの検討	協働のまちづくりガ イドラインの検討	協働のまちづくりガ イドラインの運用	協働のまちづくりガ イドラインの運用
Tr	年度	E 別実績		まちづくり協議会と 地区公民館を対象とし たアンケート調査、意 見交換	地域組織のあり方検 討フィールドワーク2 地区各5回		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	2,888	2,928	2,897	0	0
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	2,888	2,928	2,897	0	0
韷	員数の	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		協働のまちづくりガイドラインの検討		目標	0	0	0	1	1
	1			実績	0	0	0	0	0
·-		(指標の説明)							
活動	2			目標	0	0	0	0	0
動指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
127				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成	成30年度の事務事業実	施概要【DO】	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	(う ら) 業概要と連動)
			【問合せ先】コミュ	ニティ支援係	0857-30-8176			
			【10次総の施策体系	系】3101				
			【予算計上の経過】	当初予算(予算	算事業別概要な	L)		
			【事業の概要】 協働のまちづくり? ちづくりガイドライ?				軍営を行うため	り、協働のま
	i i	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成29年度に実施区(宮下、佐治)で 地区(宮下、佐治)で を今後の取り組みに 表やパネルディスカー 協働のまちづくりま	地域組織のあり 生かすため「参 ッションなどを) 方検討フィー 方検討フィー 京藤	ルドワークを ちづくりフォ 深めた。	開催した。 これ ーラム」 を開作	いら検討状況 置し、事例発
			【今後の課題・方向性 平成30年度に実施え、令和元年度は、 織の一体化や関連する た地域コミュニティの	ー 施したモデル 希望される地域 る補助金などの	域において、ま O一括交付を試	ちづくり協議: 行的に実施する	会と公民館運営	含委員会の組
6	活重	カ指標の達成率 【CHE	ck1					
Ŭ	74 4		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	協働のまちづくりガイドラインの核	意					
標達	2							
成率	3							
<u> </u>		 な率は指標の目標値。	と実績値により算出します。	 目標値が0 <i>0</i>	 年度は表示さ	れません。		
		[CHECK]						
<u> </u>		□【CRECK】 □項目と評価の視点	評価内容		評価理由(部	平価の視点を踏	主えて記 ス)	
			□ 1. 計画を上回る		01 IM +± LTI (0)	「踊くルホで田	5/L C III / /	
	年	度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり					

6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未済: 大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価 □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。

事業の成果

□ 3. 事業未完了

□ 2. 目標を上回る

■ 3. 概ね目標どおり

□ 1. 目標を大幅に上回る

8. 事業の成果を踏まえた今後	<u> 後の方同性【ACTION】</u>				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5-1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了		10 7 714 T	□ 5-3	43223
	づくり協議会と公民館運営委員会 ミュニティのあり方について検討	の組織の一体化			和元年度は、希望される地域において、まち 実施するなど、地域の実情に即した地域コ

事務事業⊐ート 020400 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地区公民館の活用の基本方針の策定事業 所属名 市民生活部 協働推進課

1	其	木	恄	報

位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置では	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期	
づ盟	ブ _画 政策 01 協働のまちづくり					根拠法令、	
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推送	隹	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山凹寸	
目施 世策	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
0)	地区公民館の耐震	化率		85%	会計区分		
予算	予算事業名					予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民等
意図 (どのような状態 にするために)	地区公民館の活用策と今後のあり方を見直し、地域コミュニティ活動の充実・強化で市民サービスの向上を図る。
手段 (どうするのか)	地区公民館の活用の基本方針を策定し、適切に運用する

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		1/2/3111	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 一 年度別実績		地区公民館の活用の 基本方針の検討	地区公民館の活用の 基本方針の検討	地区公民館の活用の 基本方針の検討	地区公民館の活用の 基本方針の運用	地区公民館の活用の基本方針の運用
T			地区公民館の活用の基本方針の検討、関係団体等との意見交換	まちづくり協議会と 地区公民館を対象とし たアンケート調査、意 見交換	地域組織のあり方検 討フィールドワーク2 地区各5回		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	2,888	2,928	2,897	0	0
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
_	人们	牛費 B	2,888	·	2,897	0	0
膱	員数の	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	貿馮	を投入することで実施した活動の大き	できる	9 指標	[PLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		地区公民館の活用の基本方針の検討		目標	0	0	0	1	1
	1			実績	0	0	0	0	0
\ ₋ -		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•		•		

5	ᄑ	₹30年度の事務事業実施概要	ī [DO]	必前年度の	取り組みた目体	・めに記入(名質	[事務事業の事]	(うら) 業概要と連動)	
<u> </u>	干店	(30年度0)事務事業失肥佩安	【問合せ先】地区公		# · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	的一部八八八五	事務事業の事:	未似女C连到/	
			【10次総の施策体系】3101						
			【予算計上の経過】	当初予算(予算	事業別概要なり	L)			
			【事業の概要】 地区公民館の活用 民サービスの向上を						
		事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成29年度治)に要成29年度治の成果 中区(宮下、りまる)を今後のかいずちを表している。 「今後のの課題を表している。」のは、一年のでは、日本のでは、一年のでは、日本のは、日本のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	地域組織のありまかすため「きょうなどを推進本部会議は性】 たモデルは施望されるなどのる補助金などの) 方検討フィーまき を通じて、 本	ルドワークを たづくりフォ 深めた。 で制度や支援 ルドワーク協議 行的に実施す	開催した。これ ーラム」を開催 のあり方の検討 フォーラム等の 会と公民館運営	いら検討状況 強し、事例発 対を並行して い結果を踏ま は委員会の組	
6.	活動	加指標の達成率【CHECK】							
		指標名	,	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	地区公民館の活用の基本方針の検討 指 1								
標達成	2								
率									
Ж	達瓦	(率は指標の目標値と実績	値により算出します。	。目標値がO <i>の</i>	年度は表示さ	れません。			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 清.上回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 1.目標を大幅に上回る□ 2.目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4.目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫られた / 区ツカロエ	LACITOIN

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了			□ 5-3	4-122-1-1-1
	づくり協議会と公民館運営委員会 ミュニティのあり方について検討	の組織の一体化	Lや関連する補助金などの一括		↑和元年度は、希望される地域において、まち 上実施するなど、地域の実情に即した地域コ

 事務事業コート
 020501
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地区公民館整備事業(新築)
 所属名
 市民生活部 協働推進課

1	其	木	恄	報

	L. ILI IN						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	地域に活気があるまち			全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、		
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山四寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	建設、整備
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地区公民館新築事業費					予算事業コード	01-09-04-16-11-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区公民館
意図 (どのような状態 にするために)	生涯学習及び地域コミュニティの活動拠点として、施設の老朽化及び時代のニーズや地域社会の変化に対応した地区公民館整備を行うため。
手段 (どうするのか)	地区公民館の建替えを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の耶	り組みを	:簡潔に記入
--------	------	--------

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内:	年度別計画		中郷地区公民館 西郷地区公民館	小鷲河地区公民館 日置各地区公民館 西郷地区公民館	津/井地区公民館	城北地区公民館成器地区公民館	
容	工事完成 西郷地 工事は未 年度繰越		中郷地区公民館新築 工事完成。 西郷地区公民館新築 工事は未完成のため翌 年度繰越。駐車場整備 工事は平成29年度に 実施。	小驚河地区公民館新 築工事完成。 日置谷地区公民館新 築工事完成。 西郷地区公民館新築 工事(繰越事業)、駐 車場工事完成。	津/并地区公民館新 築工事完成。		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	237,874	418,745		0	0
事	直接	経費 A	234,264	415,085	207,855	0	0
業	.±.+±.4∇	国・県	0	15,842	10,625	0	0
費	直接経 費の財	地方債	210,300	359,300	167,000	0	0
_	源内訳	その他	0	8,555	4,469	0	0
		一般財源	23,964	31,388	25,761	0	0
	人作	牛費 B	3,610	3,660	3,622	0	0
℮	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	. 10//	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		地区公民館新築事業	館	目標	2	3	1	2	0
	1	E .		実績	1	3	1	0	0
·-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
123				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

							(うら)			
5. 平.	成30年度の事務事業実	施概要【DO】 【問合せ先】地区公		取り組みを具体[的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)			
		【問合せ先】地区公	大語係 0857-3	30-8178						
		【10次総の施策体	【10次総の施策体系】3101							
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:6月補正・P19(地008)							
		【事業の概要】 地区公民館を新築 ィの拠点施設として			を解消し、生活	厓学習及び地 垣	 なコミュニテ			
事務事業の実施概要		民館新築実施設計業 平成28年度 2 平成29年度 3	津ノ井地区公民館新築工事、津ノ井地区公民館解体・駐車場整備設計業務、成器地区公民館新築実施設計業務、城北地区公民館新築実施設計業務を実施した。 平成28年度 234,264千円 平成29年度 340,996千円 (平成29年度繰越事業 74,089千円 西郷地区公民館新築工事)							
		【今後の課題・方向 令和元年度は、成	【今後の課題・方向性】 令和元年度は、成器地区公民館新築工事、城北地区公民館新築工事、城北地区公民館外 構工事を行う。あわせて年次計画により、引き続き地区公民館の整備を進めていく。							
		<u> </u>								
6. 活	動指標の達成率【CHE T	ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	亚战20年度	平成31年度	△和○左由			
Η.	地区公民館新築事業	担保石			平成30年度	干成31年度	令和2年度			
指 ¹ 標 —			50%	100%	100%					
達 2										
成 — 率 3										
※達	<u> </u> 成率は指標の日標値。	と実績値により算出します。	」 。目標値がΩの	年度は表示さ	れません。					
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1207 = 700					
	価【CHECK】 価項目と評価の視点	評価内容		预布细点/影	価の視点を踏	士ラア記 1 1				
高 十 1	現日と計画の代点	計画的台		計1111年出(計	一回の代点で蹈	みん(記八)				

7. II IIII LONG		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 滴:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

<u> </u>	X				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了		他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	引き続き、年次計画により地区公	民館の整備を込	進めていく。		
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業⊐ート 020503 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地区公民館整備事業(改修) 所属名 市民生活部 協働推進課

1	其	木	恄	報

位総	体系区分	П -		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	協働のまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推済	隹	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山凹寸	
目施 世策	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	建設、整備
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
0)	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地区公民館改修等事業費					予算事業コード	01-09-04-06-25-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

_2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区公民館
意図 (どのような状態 にするために)	地域住民が気軽に集い、生涯学習事業及びコミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整えるため。
手段 (どうするのか)	地区公民館の改修工事を計画的に行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り	組みを簡潔に記入
---------	----------

Ť	スープ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画		イレ男女別化改修 酒津地区公民館トイレ男女別化改修	計画なし	谷地区公民館移転改 修設計、工事 あおば外壁公民館屋 根及び外壁改修設計 美穂地区公民館外壁 他改修設計 八上地区公民館2階 トイレ設置工事	旧日置谷地区公民館解体設計 旧小驚河地区公民館解体設計 旧成器地区公民館解体設計 出成器地区公民館解体設計 津ノ井地区公民館解体·駐車場整備工事	未定	
			稲葉山地区公民館トイレ男女別化改修の設計及び工事を完了した。 酒津地区公民館トイレ男女別化改修の設計 及び工事を完了した。	工事なし	谷地区公民館移転改 修設計を完了。 あおば地区公民館屋 根及び外壁改修設計を 完了。 美穂地区公民館外壁 他公民館外壁 小上地区公民館2階 トイレ設置工事を完了。			
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費	費(A+B)	33,506	0	16,643	0	0	
事	直接	経費 A	32,062	0	15,194	0	0	
業	± +÷ 4∇	国∙県	0	0	0	0	0	
費	直接経 費の財	地方債	28,400	0	8,600	0	0	
<u> </u>	源内訳	その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,662	0	6,594	0	0	
	人作	牛費 B	1,444	0	1,449	0	0	
础	員数の	正規職員	0.20	0.00	0.20	0.00	0.00	
	_{貝数の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	. 10/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

Ü	<i></i>	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		改修工事件数	件	目標	2	0	2	1	0
	1		IT	実績	2	0	1	0	0
ュ		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指標	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	[事務事業の事	業概要と連動)
事務事業の実施概要	【目合せ先】地区公【10次総の施第年】 (10次総の施第十年) (10次 (10次 (10次 (10次 (10次 (10次 (10次 (10次	民館係 0857- 系】3101 次:6月補正・ 次:6月補正・ を行環境 計改を整 2,062な整 2,062な手 4,216千月 216千月	90-8178 P19(地0 地域住民が気 ることを目的 は翌年度繰越 計、八上地区	07) 軽に集い、生i としている。)、あおば地l 公民館2階ト	運学習事業や コ 三学習事業やコ	コミュニティ
6. 活動指標の達成率【CHECK】				T-*		^ 1- o t- r
┃ ┃ 指標名	i	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

指標達成率 2

3

改修工事件数

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	関係者との改修内容調整協議に不測の日数を要したため、谷地区公民館 移転改修工事を繰越した。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	■ 4. 目標を下回る	関係者との改修内容調整協議に不測の日数を要したため、谷地区公民館 移転改修工事を繰越した。

100%

50%

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫られた / 区ツカロエ	LACITOIN

<u> </u>	X				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了		他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	引き続き、年次計画により地区公	民館の整備を込	進めていく。		
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コード 重点施策 該当なし 020600 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 市民生活部 協働推進課 事務事業名 町内集会所建設等補助事業

1	其	木	恄	報

	T'ID TK						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期	
	政策	01	茘働のまちづくり				鳥取市町内会集会所新築等補
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推進			根拠法市、 根拠計画等	助金交付規則
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	建設、整備
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付
0)	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 町戸					予算事業コード	01-02-01-11-10-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会集会所
	町内会の会合やイベントに利用する集会所を整備することにより、地域コミュニティの醸成を図り、地域の活性 化を促進する
手段 (どうするのか)	町内会が実施する集会所の整備等に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の)取り組み	を簡潔に	こ記入
-------	-------	------	-----

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受 付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受 付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受 付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受 付、審査の実施
台	年度	別実績	27件 (内訳) 新築 3件 修繕 17件 賃借 4件 エアコン新設 3件	30件 (内訳) 新築 2件 修繕 13件 賃借 4件 エアコン新設11件	31件 (内訳) 5件 修繕 15件 賃借 3件 エアコン新設 8件		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	37,123		41,215	0	0
事	直接	経費 A	34,957	18,864	39,042	0	0
業	直接経	国·県	0	0	0	0	0
費	世族社費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	34,957		39,042	0	0
	人作	牛費 B	2,166		2,173	0	0
賠	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	3 LI/ \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	でを表	5 指標	[PLAN·DO]						
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		集会所新築等補助件数	件	目標	18	18	18	18	18		
	1		H	実績	27	30	31	0	0		
\		(指標の説明) 本補助金を利用して町内会集会所の整備等を実施する件数									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
IN				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

							(つり	
5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年	度の取り組み	⊁を具体的に記え	(予算事務	事業の事業概	要と連動	
	【問合せ先】市民活	舌動係 0857	-30-8177					
	【10次総の施策体	本系】3101						
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 4 6 (地 0 1 5)							
	【事業の概要】 集会所(町内会の 事業はコミュニティ ている。平成20年 を設置する場合も複 改修等に対して助所 化を促進する。	ィ活動の基盤 拝度からは集 甫助対象とし	盤となる集会 真会所施設の している。町	所建設を支援で 賃借料、平成 2 「内会のコミュニ	するため、平 2 7年度から ニティの場で	Z成3年度か oは新規に冷 である集会所	ら実施し 暖房設備 の建設や	
事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成28年度 3 平成29年度 1 平成30年度 3	8,864千円	3件 計2 (新築2件、 11件 計	7町内会) 修繕等13件、 30町内会) 修繕等15件、	賃借4件、	冷暖房施設	新規整備	
	【今後の課題・方向 地域コミュニティ 続して支援していく 成30年度に実施し	ィの活動拠点 く必要がある	る。可能な限	り町内会の要望	翟に応じるこ	とができる	よう、平	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指揮	1	集会所新築等補助件数	150%	167%	172%		
指標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	■ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫られた / 区ツカロエ	LACITOIN

<u> </u>	X CONTRACTOR TO THE TAXABLE PROPERTY.				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	11 1 2 2 _ 1 1 1 .		10 , NO	□ 5-3	4-122-1-1-1
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)	の要望に応じることができるよう				「支援していく必要がある。可能な限り町内会 上仕組みづくりを検討する。

事務事業コード 020700 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 殿ダム対策事業 所属名 都市整備部 都市環境課

1	其	木	恄	報

	1 113 1W						
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	地域に活気があるまち			平成26年度 ~ 令和5年度
	政策	01	協働のまちづくり			根拠法令、	
けめ	施策	3101	協働のまちづくりの推進			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山四寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	その他
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	運営方法	補助金交付	
•	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 殿久	予算事業名 殿ダム対策費			<u> </u>	予算事業コード	01-07-01-01-14-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	殿ダム水源地域集落、団体及び事業推進団体
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	「殿ダム水源地域ビジョン」に基づき、豊かな自然環境の保全とダムを地域資源とする魅力的な地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	ダム湖の新たな緑水空間と自然環境を活用した水源地域の活性化対策を計画的に推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年[年別の	田口し	組み	を簡潔	ᇆᇎᆺ

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対 策事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対 策事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対 策事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 策·殿ダム水源地域等対策事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 、殿ダム水源地域等対策事業補助金 6団体
			水源地域等活性化対策 (宋) · 殿ダム水源地域等対策事業補助金交付 (6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策事業補助金交付 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対 策事業補助金交付 6団体		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	22,579	,	22,338	0	0
事	直接	経費 A	18,969	17,785	18,716	0	0
業	. 	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
_	源内訳	その他	2,975		3,791	0	0
		一般財源	15,994		14,925	0	0
	人作	牛費 B	3,610	3,660	3,622	0	0
쁨	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 J L//	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	でを表	す指標	[PLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	1	事業個所数及び活性化対策地区数	地区	目標	6	6	6	6	6
			Į Į	実績	6	6	6	0	0
\-		(指標の説明)							
活動	2			目標	0	0	0	0	0
動指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

	(ブら
5. 平成30年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	【問合せ先】管理係 0857-30-8341 【10次総の施策体系】3101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P203 (都022)
事務事業の実施概要	【事業の概要】 ・水源地域等対策事業補助金目的:ダム周辺地域の発展を図る内容:殿ダム水源地域及び集落等が行うまちづくり事業等に要する経費に対する補助補助対象者:国府町大茅地区、成器地区の集落及び団体、並びに殿ダム水源地域整備事業を促進する団体・殿ダム周辺広場の維持管理(指定管理)・殿ダム周辺応設整備
	【事業の成果】 水源地域等対策事業補助金、殿ダム周辺広場指定管理料、施設整備費 平成28年度 18,968千円 平成29年度 17,785千円 平成30年度 18,716千円 【今後の課題・方向性】 ビジョンに基づいた推進施策等を継続的に実施し、観光、活性化資源としてのダム周辺の有効活用を進める必要がある。殿ダム「因幡万葉湖」を地域資源とした殿ダムウォーキングや野外音楽祭の開催など、新たな魅力創出につながる持続的な活動を通して地域の更なる活性化を図る。
	※その他財源の財産収入は、殿ダム水源地域対策基金積立金利子。 ※その他財源の繰入金は、殿ダム水源地域対策基金繰入金。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	事業個所数及び活性化対策地区数	100%	100%	100%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

_/. 評価【UREUN】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る	
「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

<u> </u>	X + 7 7 3 1 3 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1				
	□ 1. 拡充	□ 1−1 意	図的に拡充 [□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制原	度的に自然増加 [□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手	段等の改善[□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効	率化、簡素化 [□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他	事業との統合 [□ 5-3	制度的に終了
	岸ジオパークと連携しながら推進		-画の持続的な展開のため、』	殿ダム・因幡	万葉湖を観光資源とした地域活性化を山陰海

事務事業コード 020800 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名地域振興会議運営事業 所属名 市民生活部 地域振興課

1. 基本情報

	1 113 1W						
☆ 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	地域に活気があるまち			平成27年度 ~ 令和6年度
づ買	政策	01	協働のまちづくり			根拠法令、	地域振興会議条例
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推進			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山四寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
0)	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地址	或振興会議	運営費			予算事業コード	01-02-01-07-53-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

_ 2. 尹未口	y [PLAN]
対象 (何を、誰を	・新市域(鳥取地域を除く旧8町村)
意図 (どのようなり にするため)	
手段 (どうするの)	・地域振興会議を設置し地域振興施策等への地域意見の反映 ・新市まちづくり計画の進捗管理

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		地域振興会議の開催地域振興会議会長会の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長会 の開催 地域振興会議合同会 議の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長会 の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長会 の開催 地域振興会議合同会 議の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長会 の開催
台	年度別実績		地域振興会議 延べ 63回開催(うちプロ ック会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月)	地域振興会議 延べ 62回開催(うちプロ ック会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月) 合同会議1回開催	地域振興会議 延べ 63回開催(うちブロ ック会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		責(A+B)	5,446	6,441	6,127	0	0
事	直接	経費 A	4,724	5,709	5,403	0	0
業	±+÷.4₹	国∙県	0	0	0	0	0
	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
1	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源		5,709	5,403		0
	人作	牛費 B	722	732	724		0
暗	員数の	正規職員		0.10	0.10	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ī	u/\	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	貧洲	<u>ほを投入することで実施した活動の大き</u>	さを表	<u> ず指標</u>	[PLAN·DO]						
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		各委員出席率	%	目標	80	80	80	80	80		
	1		70	実績	84.2	85.1	81.7	0	0		
٠,-		(指標の説明) 地域振興会議での各委員の出席率(平均)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
IX.				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

ວ.	平凡	ネ30年度の事務事業実	施概要【DO】	※前年度の	取り組みを具体	的に記人(予算	事務事業の事	莱概要と連動)
【問合せ先】振興係の857-30-8172 【事業の経過及び背景】 平成26年度末をもって終了した地域審議会に代わり、条例に基づき、8地域(新市域)に地域振興会議を設置。 【事業の目的及び効果】 本市の一体的な発展に資する対象区域(新市域)の振興を図るため、地域振興会議を設計する。 【事業の内容・実績】 平成26年度末をもって地域審議会が終了した。地域審議会。8地域近代605回、地域審議会会長会 合計23回(H16~H26)地域振興会議。8地域の地域振興会議8地域の地域振興会議8地域の地域振興会議3回)1.28年度:62回(うちブロック会議3回)1.30年度:63回(うちブロック会議3回)2.会長会8地域の地域振興会議の連絡及び情報交換を行うとともに、本市の一体的な発展を目指す立場で市長と意見交換を行うため、会長会を年2回開催する。(8月、2月)旧28年度:2回日第30年度:2回【根拠法令】地域振興会議条例								東会議を設置
_								
6.	 古里	カ指標の達成率【CHE -	<u>-CK】</u> 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		各委員出席率	101111111111111111111111111111111111111				17%01平及	13/142-17
指標	1			105%	106%	102%		
達	2							
成率								
平	3							
X	達成	南本は指標の目標値の	と実績値により算出します。	。目標値がOの	年度は表示さ	れません。		
7	評価	[CHECK]						
Ė		項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	F価の視点を踏	まえて記入)	
	年	度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る					
			■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					
当該	年度で	E度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。						
		事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る					
6 =	動指揮	チェックルス 『の達成率【CHECK】より	■ 2. 目標を上回る					
Γ150	%以上	:大幅に上回る」、「101%~150%未、「80%~100%以下:目標どおり」、	□ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る					
		%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る					
	— .u							
8.	事第	の成果を踏まえた今後	後の方向性【ACTION】 ■ 1. 拡充	1-1 意図的	に址本	□ 4-1 意	羽的に絵小	
				1-1 息因的 1-2 制度的			Siniに幅小 度的に自然減り	>
		今後の方向性	□ 3. 現状維持 □	2-1 手段等	の改善	□ 5-1 臨年	F実施等、意図	
				2-2 効率化		□ 5-2 意图		
\vdash	TD -1-	== = = · · ·	各地域の資源や特性を活かした更なる	2-3 他事業 地域活性化および本市		□ 5-3 制度		れており、継続して
		課長の評価コメント)方向性」を判断した理由が	開催していく。					
ゎ	かるよ	う、数値等を用いた具体的 、今後の改善プランを記載)						

事務事業コード 036400 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 雪害対策事業(仮称) 所属名 危機管理部 危機管理課

1	其本	害報

	1 - 113 TIV						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	協働のまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推進			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山凹寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	建設、整備
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	
予算	予算事業名		_			予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 争未日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市内で雪害が発生又は発生するおそれのある場合に区域内にいる市民及び関係機関
意図 (どのような状態 にするために)	大雪等による災害を未然に防止するとともに、市民生活及び地域経済に及ぼす影響の最小化を図る。
手段 (どうするのか)	積雪前の時期に大雪等における市民生活に及ぼす影響の最小化について多角的な視野で検証や意見交換を行い市民の安全と安心に繋げることを目的とした「雪に対する安全で安心な市民生活連絡会」を開催する。 鳥取市積雪対応指針に基づき庁内の組織体制の確立、関係機関との連携により適切な除雪対策を講じる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の	り取り組の	みを簡潔	に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開催 鳥取市積雪対応指針 の策定	雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開催 鳥取市積雪対応指針 の検証による見直し	雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開 鳥取市積雪対応指針 の検証による見直し	雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開催 鳥取市積雪対応指針 の検証による見直し	
谷				雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開催 鳥取市積雪対応指針 の策定	雪に対する安全で安 心な市民生活連絡会議 の開催 鳥取市積雪対応指針 の改訂		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	7,319	7,243	0	0
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人作	件費 B	0	7,319	7,243	0	0
賠	員数の	正規職員	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	- 147 \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	資源	<u>ほを投入することで実施した活動の大き</u>	さを表	ず指標	[PLAN·DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催		目標	0	0	1	1	1
	1		亘	実績	0	0	1	0	0
·-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1XX				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•	•				•	

	1 /3	成30年度の事務事業実施				的に記入(予算	・事務事業の事	耒概安と理 期)		
			【問合せ先】防災支	援係(0857-30-	-8034)					
			【10次総の施策体	系】						
			【予算計上の経過】							
			で安心な市民生活連 ついて多角的な視野	【事業の概要】 毎年、積雪前に、市及び市民生活に関係する各種団体・機関で組織する「雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議」を開催し、大雪等における市民生活に及ぼす影響の最小化について多角的な視野で検証や意見交換を行い、市民の安全と安心に繋げる。 それに伴い、平成29年策定の「鳥取市積雪対応指針」についても見直し作業を行う。						
	;	事務事業の実施概要		【事業の成果】 平成30年11月28日 雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議開催 平成30年11月 鳥取市積雪対応指針改定						
		3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	【今後の課題・方向 引き続き、毎年、各 直しや改善を行い鳥	種団体・機関と				本に即した見		
_										
6.	活動	助指標の達成率 【CHEO I	CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
+	≥ 1	雪に対する安全で安心な市民生活		1 120-1 12	1 19,50-1 12	100%	1 19001112	17144-17		
指標	F	<u> </u>				100%				
達	2			1 .	1	l .				
成										
成率										
率	3	 	実績値により算出します。	。目標値がOの	年度は表示さ	れません。				
率	· 達成		実績値により算出します。	。目標値が〇の	年度は表示さ	ぶれません。				
率	· 達成 · 評価	西【CHECK】 西項目と評価の視点	評価内容	。目標値がOの		されません。	まえて記入)			
率	· 達成 · 評价 · 評价	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の維捗度		。目標値が〇の			まえて記入)			
李 7. 3. 章	3 達 D : 評 G : 評 G : 事 # G	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より	評価内容 □ 1. 計画を上回る	。目標値が〇の			まえて記入)			
李 7. 3.1計分 6. 3	3 達	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO]より 「予定した事業が3月末時点でどのよ」 況となったか。 事業の成果 標の達成率【CHECK】より	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	。目標値がOの			まえて記入)			
本 7. 3. 非 5 6. ;; 「1 5 元 満 : 「5 0 元	3 (達 月 何 何 年 字 で ままままままままままままままままままままままままままままままままま	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO】より で予定した事業が3月末時点でどのより で予定した事業が3月末時点でどのより できまでの達成率【CHECK】より に大幅に上回る」、「10196~15096未 」、「8096~10096以下: 目標どおり」、	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る	。目標値が〇の			まえて記入)			
本 7. 3.3 計 6. 15 1	3 (達 月 何 何 年 字 で ままままままままままままままままままままままままままままままままま	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO】より で予定した事業が3月末時点でどのより で予定した事業が3月末時点でどのより できまでの達成率【CHECK】より に大幅に上回る」、「10196~15096未 」、「8096~10096以下: 目標どおり」、	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	。目標値が〇の			まえて記入)			
本 3.1 計な 6. ; 5.50 下 6. ; 5.5	金 3 (文達) 「	面【CHECK】 面項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO]より 子定した事業が3月末時点でどのよ 「決せなったか。 事業の成果 標の達成率【CHECK】より に、大幅に上回る」、「101%~150%未満、1, 「260%~100%以口、目標とおり」、 1, 180%~100%以口、目標とおり」、 1, 180%~100%以口、目標とおり」、 1, 180%~100%以口、目標とおり」、 1, 180%~100%以下、目標とおり」、 1, 180%~100%以下、目標とおり」、 1, 180%~100%以下、目標とおり、 1, 180%~100%以下、目標とおり、 1, 180%~100%以下、日標で評価	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る		評価理由(記	平価の視点を踏				
本 3.1計算 (5.0 下回 6.75 下回 7.0 下	金 3 (文達) 「	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO】より 子定した事業が3月末時点でどのよ 『決となったか。 事業の成果 『の達成率【CHECK】より に大幅に上回る」、「10196~15096未 は、「8096~10096以下:目標とおり」、 1998未満、下回る」、「5096未満:大幅に に最も達成度の低い指標で評価	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	。目標値がOの I 1-1 意図的 I 1-2 制度的	評価理由(記	平価の視点を踏		>		
本 3.1計算 (5.0 下回 6.75 下回 7.0 下	金 3 (文達) 「	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO】より デ予定した事業が3月末時点でどのよ 『決となったか。 事業の成果 標の達成率【CHECK】より に、対応に上回る」、「101%~150%未満、大幅に上のる」、「50%未満、大幅に ※最も達成度の低い指標で評価 業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	評価理由(記 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨年	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図			
本 3.1計算 (5.0 下回 6.75 下回 7.0 下	金 3 (文達) 「	西【CHECK】 西項目と評価の視点 F度計画の進捗度 年度別計画・実績【PLAN・DO】より デ予定した事業が3月末時点でどのよ 「別となったか。 事業の成果 標の達成率【CHECK】より によ大幅に上回る」、「101%~150%未満、大幅に が最も達成度の低い指標で評価 業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どのる □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率半	評価理由(記 ・ 拡充 ・ に自然増加 の簡素化 との統合	平価の視点を踏 ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制度 ロ 5-1 臨年 ロ 5-2 意図 ロ 5-3 制度	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止		

事務事業コード 036500 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 市民生活部 協働推進課 事務事業名 地域コミュニティ除雪活動支援事業

1	其太	情報

	1 113 116						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成29年度 ~ 全期	
づ問	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、		
けの	施策	3101	協働のまちづくりの推済		根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山四寸	
目施	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)			0%	75%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	アクティブとっとりの市民活動団体登録数			190団体	210団体	運営方法	補助金交付
0,	地区公民館の耐震化率			85%	100%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地址	或コミュニテ	ィ除雪活動支援事業費			予算事業コード	01-02-01-11-06-17

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会等
意図 (どのような状態 にするために)	大雪時に行う生活道路等の除雪活動に伴う負担軽減のため
手段 (どうするのか)	地域が自主的に取り組む除雪活動に係る経費の一部を支援する

3.	事業の年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

			十八20十尺	十八23十尺	十八30千尺	十八い十尺	TML+技
内容	年度別計画			大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的 に取り組む除雪活動の 支援
台		E別実績		町内会数 833 申請数 272	町内会数 833 申請数 55		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	0	1,452	0	0
事	直接	経費 A	0	0	728	0	0
業	±+±.4∇	国・県	0	0	241	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	487	0	0
	人作	牛費 B	0	0	724		0
℮	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
I '	ノロドス	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u>4.</u>	負源	<u>ほを投入することで実施した活動の大き</u>	さを表	<u> ず指標</u>	[PLAN·DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		地域の除雪活動を継続して支援する		目標	0	1	1	1	1
	1			実績	0	1	1	0	0
,_		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1730				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		•	•	•	•		

٠.	十万	は30年度の事務事業実施	池概安	[DO]		※前年度の	取り組みを具体	的に記人(予算	事務事業の事	耒慨安と理判)	
				【問合せ先】コ			0857-30-8176				
【10次総の施策体系 【予算計上の経過】 予算事業別概要目と 【事業の概要】											
										大雪時に町内	
				一部を支援する			ニニティ活動の	下支えを行う。	とともに、市国	そとの協働に	
			,	よる除雪対策の- ≪発動条件≫	一助と	90.					
				鳥取市(北		は南部)に力	に雪注意報が発	表されたとき			
《補助対象経費》						に行る除電池	5動に係る経費		電禾託料(おじ)		
	_			≪補助率等≫	<u>н</u> тнэ	(二) 万际国际	野に水る柱真	(然)付負、例:	自安配付なる)		
	Ę	事務事業の実施概要					会に加盟する各	町内会			
				補助率3/	4、補	助限度額 5	5 万円				
				【事業の成果】							
				平成29年度							
			1	平成30年度	5	3 叫 円会					
				【今後の課題・							
			1	平成30年度			申請が少なか	った。今後も	ニーズを見極め	の、必要に応	
				じて制度の見直	レど凶	ට ං					
6.	活重	助指標の達成率 【CHE	CK]								
			指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
指		地域の除雪活動を継続して支援で	する				100%	100%			
標											
達 成	2										
率	3										
×.	達成										
7		(率は指標の目標値と	:実績値	直により算出しる	 ます。	目標値が0の	年度は表示さ	れません。			
1.	評価		:実績値	直により算出しる	ます。 目	目標値がO <i>の</i>	年度は表示さ	れません。			
		弦率は指標の目標値と fi【CHECK】 fi項目と評価の視点	:実績(i	直により算出しる	 	目標値がOの		れません。	まえて記入)	-	
	評価	面【CHECK】 面項目と評価の視点 度計画の推排度	☐ 1. į	評価内容 計画を上回る	 	目標値が0の			まえて記入)		
	評価	i 【CHECK】 i項目と評価の視点 度計画の進捗度	□ 1. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり	 	目標値がO <i>の</i>			まえて記入)		
3. 事	評価年 **の年	「CHECK」 「項目と評価の視点 に度計画の進捗度 「度別計画・実績【PLAN・DO]より	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i	評価内容 計画を上回る	ます。E	目標値がOの			まえて記入)		
3. 事	禁の年 乗ので	「CHECK」 「項目と評価の視点 に度計画の進捗度 「度別計画・実績【PLAN・DO]より	□ 1. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり	ます。 E	目標値がO <i>の</i>			まえて記入)		
3. 事	禁の年 乗ので	「【CHECK】 「項目と評価の視点 度計画の進捗度 「度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。	□ 1. ‡ ■ 2. ‡ □ 3. ∃	評価内容 計画を上回る 計画どおり		目標値が0の			まえて記入)		
3. 事 当該: うなが	評価 年 業の年度 様状	「【CHECK】 「項目と評価の視点 で度計画の進捗度 「度計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 1. i □ 2. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上順 目標を上回る		目標値がOの			まえて記入)		
3. 事 うなが 6. 活 「150	評価 年 の年で状	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「の達成率【CHECK」より ・大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 2. i □ 3. i □ 3. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回 目標を上回る 概ね目標どおり		目標値が0の			まえて記入)		
3. 事該うなが 6. 活50 「150%」	評価 年 衆度状 動以回る 80 を 80	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「次幅に上回る」、「10196~15096未 「8096~10096以下:目標とおり」、	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 4. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る	回る	目標値が0の			まえて記入)		
3. 事該うなが 6. 活50 「150%」	評価 年 衆度状 動以回る 80 を 80	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「次幅に上回る」、「10196~15096未 「8096~10096以下:目標とおり」、	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 4. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回 目標を上回る 概ね目標どおり	回る	目標値がOの			まえて記入)		
3. 事該うなが 6. 活50 「150%」	評価 年 衆度状 動以回る 80 を 80	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「次幅に上回る」、「10196~15096未 「8096~10096以下:目標とおり」、	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 4. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る	回る	目標値が0の			まえて記入)		
3. 事該が 6. 活5:1 「15:0 下 下回	評価 年	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「度別計画・実績(PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「の達成率 [CHECK]より 「大幅に上回る」、「101%~150%未 「た80%~100%以下:目後とおり」、 9%未満:下回る」、「50%未満:大幅に最も達成度の低い指標で評価	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 4. i □ 5. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上頃 目標を上回る 概ね目標であり 目標を大幅に下原	回る 回る		評価理由(記	平価の視点を踏			
3. 事該が 6. 活5:1 「15:0 下 下回	評価 年	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「では、事業が3月末時点でどのよれとなったか。 「事業の成果 「の達成率 [CHECK]より 「大幅に上回る」、「1019~、15096未 「た809~10096以下:目標とおり」、 96未満:下回る」、「5096未満:大幅に最も達成度の低い指標で評価	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 5. i □ 5. i □ 1. i	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上順 目標を上標のる 目標を大幅に下原 目標を大幅に下原	回る □る	-1 意図的	評価理由(訂	平価の視点を踏	図的に縮小		
3. 事該が 6. 活5:1 「15:0 下 下回	評価 年	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「では、事業が3月末時点でどのよい。」 「お幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%以下:目標とおり」、 96米満:下回る」、「50%未満:大幅に最も達成度の低い指標で評価	□ 1. i ■ 2. i □ 3. i □ 3. i □ 4. i □ 5. i €の方向 □ 1. i ■ 2. i	評価内容 計画を上回る 計画とおっ 事業未完了 目標を大幅にる 概ね目標を上順目標を大幅に下順 目標を大幅に下原 の性【ACTION】 拡充 改善継続	回る □ 3	-1 意図的 -2 制度的	評価理由(討 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少		
3. 事該が 6. 活5:1 「15:0 下 下回	評価 年	「「CHECK」 「項目と評価の視点 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「定別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「の達成率 [CHECK]より ・大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%以下:目標とおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に最も達成度の低い指標で評価 こまり、「多の成果を踏まえた今後 「今後の方向性	□ 1. ■ 2. □ 3. □ 3. □ 4. □ 5. ■ 2. ■ 3. □ 3. □ 4. □ 5. □ 3.	評価内容 計画をよっ 計画が表完了 目標をおっ 目標をを上標にるがる 目標を大幅にるがる 目標を大幅にを はて、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	□ 3 □ 3 □ 1 □ 1 ■ 2	-1 意図的 -2 制度的 -1 手段等	評価理由(記 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨 ⁴	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図		
3. 事該が 6. 活5:1 「15:0 下 下回	評価 年	「【CHECK】 「項目と評価の視点 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「度計画の進捗度 「定別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「の達成率【CHECK】より ・大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%以下:目標どおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価 こまり、これにより、「なりのではない。」 「まりのではない。」 「まり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより」、「なり、これにより」、「なり、これにより、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより、「なり、これにより	□ 1. □ 2. □ 3. □ 1. □ 2. □ 3. □ 5. □ 5. □ 3. □ 4. □ 5. □ 3. □ 4. □ 4	評価内容 計画をよっ 計画が表完了 目標をおっ 目標をを上標にるがる 目標を大幅にるがる 目標を大幅にを はて、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	□ 3 □ 1 □ 1 ■ 2 □ 2	-1 意図的 -2 制度的	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止		

担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)